

各分野におけるデジタル化・DXの取組み 主な事例一覧【生活を“豊かに”】

分野	項目	現状・課題	事業概要	実装時期	県民生活の変化（効果）
22	海まで届け清流 ～「見える化」でゴミ拾い活動を身近なものに～ 【環境生活部】	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動に取り組む県民は3割、若年層では1割。県民の3割～4割が「何をどうしていいかわからない」「現状や効果が分からない、実感できない」 県民の環境保全への意識醸成と行動喚起が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 〇ゴミ拾いアプリと連動した、県内のごみの散乱状況、ゴミ拾い活動を「見える化」するウェブページ開設 ・参加者、拾われたごみの数、仲間の投稿・活動のタイムライン、散乱ごみの分布等を「見える化」 〇車載カメラ映像をAI等で解析し、散乱ごみ分布図（ヒートマップ）を作成しウェブ公開 ・重点モデル区域（垂井、高山）から開始し、順次拡大 	R4 5月 R4 秋	<ul style="list-style-type: none"> ◎積極的に問題意識をもって地域の散乱ごみを抑制できる。 ・簡単・すぐできるから始めやすい。 ・見える・つながるから続けやすい。 ・そして、まちがきれいに。 地球規模で環境保全に貢献。
32 33	新たな文化芸術のスタイル確立 ～ハイブリッド公演・展覧会～ 【県民文化局】	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術の基本はリアルである一方で、コロナ禍で、その機会が減少。 ・様々な事情で会場に足を運べない方の鑑賞機会の充実、裾野拡大、全国・世界への魅力発信には、デジタル技術の活用が有効。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇3Dバーチャル＋リアル美術展 ・ぎふ美術展、岐阜県青少年美術展、円空大賞展 〇文化芸術イベント＋ライブ・アーカイブ配信 ・地歌舞伎公演、県有施設の映像配信設備整備 ・文化団体等によるハイブリッドイベントへの支援 〇文化財のデジタルアーカイブ化 	R4 R3 R5	<ul style="list-style-type: none"> ◎会場へ出向かなくても、気軽に、清流文化を鑑賞できる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（令和3年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3Dバーチャル美術展覧覧：19,139件 ・地歌舞伎公演（配信動画）視聴：28,865件 </div>
21 66	物流の効率化を促進 ～製造業における持続可能な地域物流モデルの普及～ 【商工労働部】	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーの労働力不足に加え、今後の時間外労働規制により「物流クライシス」が懸念されている。 ・燃料価格の高騰に伴うコスト増が、県内製造業者の経営を圧迫。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇AIを活用した共同輸配送サービス拡充経費を補助 ・公平で効率的な運送計画と柔軟な価格体系を実現するため、受注状況、倉庫の空き状況、車両情報等の情報を集約・解析 〇県内製造業者を対象に共同輸配送サービスを活用する際に運送費の一部を補助 	R4 10月	<ul style="list-style-type: none"> ◎物流効率化に伴う燃料消費量の減少により、温室効果ガス排出量を削減できる。 ◎配送トラック積載率向上により運送コストが削減され、県内製造業者の収益改善につながる。
77	農業ビッグデータの活用で収量・収益性の向上 ～農業DXプラットフォーム～ 【農政部】	<ul style="list-style-type: none"> ・農業は、担い手不足や生産性・収益性の低さが課題。 ・スマート農業機械とデータの活用が有効だが、現状、ビッグデータを活用できる基盤がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇農業DXプラットフォームの構築 ・生産・流通・販売まで、様々なビッグデータを結びつけるプラットフォームの構築を検討 	R5 以降	<ul style="list-style-type: none"> ◎スマート農業機械とビッグデータの活用により、誰もが農業に取り組みやすくなる。少ない人材で経営規模拡大ができる。 ◎単収向上、高品質生産、付加価値向上などにより、農家の収入増につながる。
90	森林情報の一元管理と活用による効率的な森林の管理・経営 ～森林クラウドシステムの活用～ 【林政部】	<ul style="list-style-type: none"> ・森林のCO₂吸収量の確保には資源循環（利用拡大と主伐・再造林）のための広範かつ正確な森林情報の把握が不可欠。 ・林業の成長産業化を図るため、様々な情報の集約と連携が必須。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇高精度森林情報の整備 ・航空レーザ測量データの解析による樹木の密度や高さなど高精度森林情報の整備 〇森林クラウドシステムによる森林情報の共有と活用 ・森林簿情報共有等による森林整備の促進 ・森林内の作業現場での携帯端末による情報活用の支援 ・皆伐地情報の共有と林業事業者等への提供（R5） 	R5 R4	<ul style="list-style-type: none"> ◎適正な森林管理、資源循環により、木材の安定供給が実現し、県内林業が活性化する。 ◎豊かで安全・安心な森林が維持される。 CO₂吸収量の増加により、地球温暖化防止の貢献につながる。
107	デジタル社会を支える人づくり ～最先端の産業教育の推進～ 【教育委員会】	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル人材の育成は全国的な課題 ・特に専門高校においては、卒業後、地域の産業界での活躍できるデジタル人材を育成していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇専門高校等への先端機器等整備によるDX教育の推進 ・BIM実習装置（※）（6校） ・食品用金属検出装置（6校） ・スマート介護実習室（3校） ・高性能PC端末を配置した実習室（4校） ・フライトシミュレーター、風洞実験装置（ものづくり教育プラザ） 	R3	<ul style="list-style-type: none"> ◎各分野での活躍を希望する県内高校生が、専門高校で最先端の技術を学べる。 ◎地域の産業界が、求めるデジタル人材を採用できる機会が増える。

（※）PCで建物の3次元デジタルモデルを設計し管理するシステム

各分野におけるデジタル化・DXの取組み 主な事例一覧【生活を“安心に”】

分野	項目	現状・課題	事業概要	実装時期	県民生活の変化（効果）
14 16 96	<p>県民の生命を守る！ ～デジタル技術を駆使した情報収集・避難対策の強化～</p> <p style="text-align: center;">【危機管理部】 【県土整備部】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な災害ほど情報が錯綜。被災状況の把握が難しく、初動対応が遅れてしまう。 令和2年7月豪雨では、4分の3の住民が避難行動をとっていない。リアルタイムの情報が必要。 また、避難促進には平時に避難シミュレーションが必須。 	<p>○Spectee を活用した状況把握と遠隔での現場確認</p> <ul style="list-style-type: none"> SNS情報をAIが解析し、発災直後の情報をタイムリーに取得 現場確認には、ドローンやウェアラブルカメラを活用 <p>○LINEを活用した避難情報等の自動プッシュ配信</p> <ul style="list-style-type: none"> 3地点（居住地、勤務地、実家等）の避難情報、気象情報をリアルタイムでプッシュ配信 <p>○デジタル版「災害・避難カード」の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難手順や経路を記載するカード作成を支援 	<p>R3</p> <p>R4 6月</p> <p>R4</p>	<p>◎SNS情報のAI解析と遠隔技術の活用で、迅速な現場確認・人命救助・復旧作業を実現。</p> <p>◎事前準備とリアルタイムの避難情報等の把握により、適切な避難行動がとれる。</p>
12 39	<p>アプリを使って健康長寿 ～健康・スポーツポイント～</p> <p style="text-align: center;">【清流の国推進部】 【健康福祉部】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県民のスポーツ実施率は全国と比べて低調。 従前の健康ポイント事業は、紙媒体のみで、利用者数が伸び悩み。 	<p>○アプリを活用した「健康・スポーツポイント事業」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康ポイントにスポーツ（歩数やスポーツイベント等への参加）を加え、新たにアプリを導入 歩数に応じたポイント自動付与、健康づくりメニュー等の検索、アプリ提示による特典利用などが可能 	<p>R4 8月</p>	<p>◎簡単、面白い、お得だから、スポーツ・健康づくりをはじめやすい、続けやすい、輪が広がる。 （スポーツ実施率向上、健康長寿に寄与）</p>
25	<p>「清流の国ぎふ」の豊かな自然を守る ～AIで野生鳥獣を管理～</p> <p style="text-align: center;">【環境生活部】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性保全と、野生動物による生活環境・農業被害の防止の観点から、野生鳥獣の管理は重要。 捕獲・目撃情報による生息数推計では、実態を正確に把握できない。 	<p>県・岐阜大学による「野生動物管理推進センター」の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○AI画像解析による野生鳥獣生息状況のモニタリング ・県内全域に自動撮影カメラを設置し、AIで画像解析 ○GPSによる野生動物の行動解析・ICT罫の普及 	<p>R5 以降</p> <p>R3</p>	<p>◎正確な生息数に基づく野生鳥獣の保護・管理により、「清流の国ぎふ」の多様な生態系が保全される。</p> <p>◎野生鳥獣による生活環境被害、農林水産業被害が軽減される。</p>
35 36 40 42	<p>安全・安心の地域医療・介護サービスの提供 ～デジタル機器の導入支援～</p> <p style="text-align: center;">【健康福祉部】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医師、介護の担い手不足は深刻であり、デジタル技術による効率化が不可欠。 医療については、中山間地域において、患者の通院と医師の負担軽減が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ○AIを用いた診療支援システム等の導入補助 ○オンライン診療時に、患者側の看護師が診療の補助を行う「DtoPwithN」の推進（情報通信機器の補助） ○福祉施設への介護ロボット・ICTの導入補助 	<p>R2～</p> <p>R2～</p> <p>H27～</p>	<p>◎患者の選択肢（通院・オンライン）が増える。医師不足地域でも適切な医療が受けられる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・診療支援システム補助： 9施設 ・オンライン診療補助： 128機関（R2～3）</p> </div> <p>◎人による介護等サービスが充実する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・介護ロボット等（H27～）：延べ178法人・270事業所（計2,429台） ・ICT機器等（R2～）：延べ231法人・588事業所</p> </div>
40	<p>AIが出会いを応援 ～オンライン婚活の推進～</p> <p style="text-align: center;">【子ども女性局】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 非婚化、晩婚化が進行し、少子化の一因となっている。 独身でいる一番多い理由は、男女ともに「適当な相手にまだめぐり合わないから」 	<ul style="list-style-type: none"> ○AIを活用した自動マッチングシステムの導入 ・会員行動履歴のビッグデータを活用し、AIがお相手探しをサポート ○オンライン婚活の導入 ・コロナ禍を踏まえ、自宅で婚活できる環境を整備 	<p>R2</p> <p>R3</p>	<p>◎結婚を望む方の出会いの機会が広がる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・AIを活用したマッチング実績（R2.4.1～R4.3.31） { お見合い成立率：31.3%（31/99件） ※AIを利用しなかった場合13.1% } </p> <p>・オンライン運用開始後の実績（R3.9.15～R4.3.31） { オンライン情報閲覧および相談：284件 オンラインお見合い：30件 オンライン新規会員登録：16件 } </p> </div>

各分野におけるデジタル化・DXの取組み 主な事例一覧【生活を“便利に”】

分野	項目	現状・課題	事業概要	実装時期	県民生活の変化（効果）
2	DXで業務プロセスを最適化 ～持続可能な行政運営と県民サービスの向上～ 【デジタル推進局】	<ul style="list-style-type: none"> 県民が、いつでも・どこでも行政手続きが可能な環境整備が必要。 事務事業見直しを大きく前進させるため、業務の抜本的見直しが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政手続きのオンライン化 <ul style="list-style-type: none"> ・電子申請システムの運用（R3） ・クレジット決済、公的個人認証機能等（R4） ・大容量オンラインストレージ（R4） ・電子契約サービスの導入（R5） ○RPA、AI-OCRの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・事務自動化ソフトウェア等により、定型事務を効率化 ○AIチャットボットの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・県民の相談に24時間・365日対応 	R3 H30 R3	<ul style="list-style-type: none"> ◎いつでも・どこでも行政手続きが可能になる。（R7年度までに全ての手続き（2,700）をオンライン化） ◎事務効率化で生み出した時間・人員で、県民サービスが向上する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><行政手続きのオンライン化の効果> 12所属・13手続き ▲1,432時間/R3（▲12%）</p> <p><RPA、AI-OCRの導入の効果> 14業務 ▲2,582時間/R3（▲29%）</p> <p><AIチャットボットの導入の効果> 電話・メール対応 ▲1,066時間/R3</p> </div>
74	多彩なキャンペーンの展開による誘客促進、魅力発信 ～電子観光クーポン事業の拡大～ 【観光国際局】	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の県民割キャンペーンで活用できるアプリを構築したがキャンペーンに付随する「ぎふ旅コイン」としてしか活用していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○電子観光クーポン事業の拡充（地域限定クーポンやスタンプラリー機能の追加） ・地域キャンペーンに活用できるようアプリを改修 ・収集したビックデータを観光振興に活用 	R4 9月	<ul style="list-style-type: none"> ◎市町村や地域単位での多彩なキャンペーンの展開により、誘客促進と魅力発信が図られ、地域に賑わいが生まれる。 ◎観光客は、様々な特典を1つのアプリで簡単に利用できる。
98	都市データを活用した快適なまちづくり ～オープンデータ化の推進～ 【都市建築部】	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの最も基本となるのが客観的データだが、現状、行政の所有する都市データが十分に公開されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○県の保有する都市情報のオープンデータ化 ・都市計画（用途地域等）、都市計画基礎調査情報（人口、土地利用等）等を、個人情報秘匿化したうえで公開 ・県域統合型GISでも公開し、民間利用も促進 	R4	<ul style="list-style-type: none"> ◎都市情報のオープンデータ化により「見える化」が進むことで、まちづくりをはじめとした地域課題を客観的に把握できるようになり、地域活性化につなげることができる。
102	公共交通の維持・活性化 ～MaaSの実現に向けた取組み～ 【都市公園整備局】	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通は交通弱者にとって不可欠な交通手段だが、公共交通事業者の経営状況は厳しく、行政の財政負担も年々増加。 ・公共交通の効率化・利便性向上等を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運行情報等のデータ化 <ul style="list-style-type: none"> ・GTF S（※）勉強会の開催 ・地域公共交通DX支援アドバイザー派遣事業（R4） ○AIオンデマンド交通等の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村による実証事業の実施を支援 ○キャッシュレス決済の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー事業者、地方鉄道（R3）による導入経費を補助 	H30 R2 R2	<ul style="list-style-type: none"> ◎各地域で、買い物、通学、通勤、通院などの日常生活に必要な移動手段が確保される。 ◎高齢者の外出機会の確保による健康増進、免許証返納促進による交通安全、観光地の利便性向上など、様々な効果により、地域が維持・活性化される。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（※）経路検索や地図サービス等へ公共交通の情報共有を行うための標準フォーマット</p> </div>
109	教職員の働き方改革で学校教育を充実 ～DXで校務を効率化～ 【教育委員会】	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の時間外労働は、依然高水準にあるほか、教育のデジタル化に伴うメンタル不調も想定され、教育への影響が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校務支援システムの導入（県・市町村） <ul style="list-style-type: none"> ・名簿、出欠、日程、成績、保健等の管理システム ・高等学校入学者選抜における調査書のデジタル送信 ○AIを活用したデジタル採点システムの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・答案を読み込みパソコンで採点・集計できるシステム ○疲労ストレス測定機器の導入（県立） ○県立高校入試におけるウェブ出願システムの導入 	R1 R3 R4 R5	<ul style="list-style-type: none"> ◎校務効率化による働き方改革により、教員と児童生徒が向き合う時間が増える。学校教育が充実する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・デジタル採点 利用教員の約87%が採点時間縮減</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎ウェブ出願により、学校への願書持参が不要になる、自分の可否をウェブ上で確認できる。